

NYマーケットレポート (2017年4月21日)

NY市場では、アジア市場から続いた軟調な流れが一服し、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。ただ、フランス大統領選の第1回投票を直前に控え、極右と極左の候補がそろって決選投票に進んだ場合、金融市場は混乱するとの警戒感も意識され、リスク回避の動きも見られ、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。

その後、トランプ米大統領が、企業と個人向けの大型減税を含む税制計画を来週公表すると発言したことを受けて、ドルが堅調な動きとなった。また、米株価も一時プラス圏まで上昇する動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、終盤にかけては再び上値の重い動きが続いた。

2017年4月21日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.20	109.42	109.12
EUR/JPY	117.08	117.31	117.00
GBP/JPY	140.11	140.15	139.73
AUD/JPY	82.28	82.44	82.13
EUR/USD	1.0722	1.0738	1.0707

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.21	109.04
EUR/JPY	117.12	116.59
GBP/JPY	140.12	139.34
AUD/JPY	82.29	81.99
EUR/USD	1.0726	1.0688

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.16	109.32	108.88
EUR/JPY	116.87	116.94	116.47
GBP/JPY	139.73	139.86	139.22
AUD/JPY	82.29	82.42	81.99
NZD/JPY	76.73	76.76	76.33
EUR/USD	1.0708	1.0711	1.0682
AUD/USD	0.7539	0.7546	0.7517

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20547.76	-30.95
S&P500	2348.69	-7.15
NASDAQ	5910.52	-6.25
日経225 (CME)	18610	-40
トロント総合	15614.48	-11.08
ボルサ指数	48967.83	-177.13
ボベスパ指数	休場	

*ブラジル市場はTirdentes dayで休場

4/24 経済指標スケジュール	
08:01	【英国】4月ライトムーブ住宅価格
14:00	【日本】2月景気一致CPI指数
14:00	【日本】2月景気先行CPI指数
14:00	【日本】3月全国スーパー売上高
14:00	【シンガポール】3月消費者物価指数
17:00	【ドイツ】4月IFO[景気動向]
19:00	【英国】4月CBI景気動向調査
20:30	【トルコ】4月設備稼働率
20:30	【トルコ】4月景気動向指数
21:30	【米国】3月シカゴ連銀全米活動指数
22:00	【メキシコ】4月消費者物価指数(隔週)
22:00	【メキシコ】4月経済活動IGAE
23:30	【米国】4月ダラス連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1289.10	+5.30
NY 原油	49.62	-1.09
CME コーン	363.75	-0.50
CBOT 大豆	960.75	+4.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.176%	1.189%
3年債	1.387%	1.401%
5年債	1.754%	1.767%
7年債	2.038%	2.050%
10年債	2.232%	2.236%
30年債	2.894%	2.886%

ドイツ10年債	0.253%	0.244%
英国10年債	1.034%	1.069%

4/24 主要会議・講演・その他予定

・ ミネアポリス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3月カナダ消費者物価指数（前月比） 0.2%（予想 0.4%・前回 0.2%）

3月カナダ消費者物価指数（前年比） 1.6%（予想 1.8%・前回 2.0%）



出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月メキシコ失業率（季調前） 3.19%（予想 3.20%・前回 3.37%）

3月メキシコ失業率（季調済） 3.53%（予想 3.52%・前回 3.46%）



出所 : Bloomberg

22 : 45

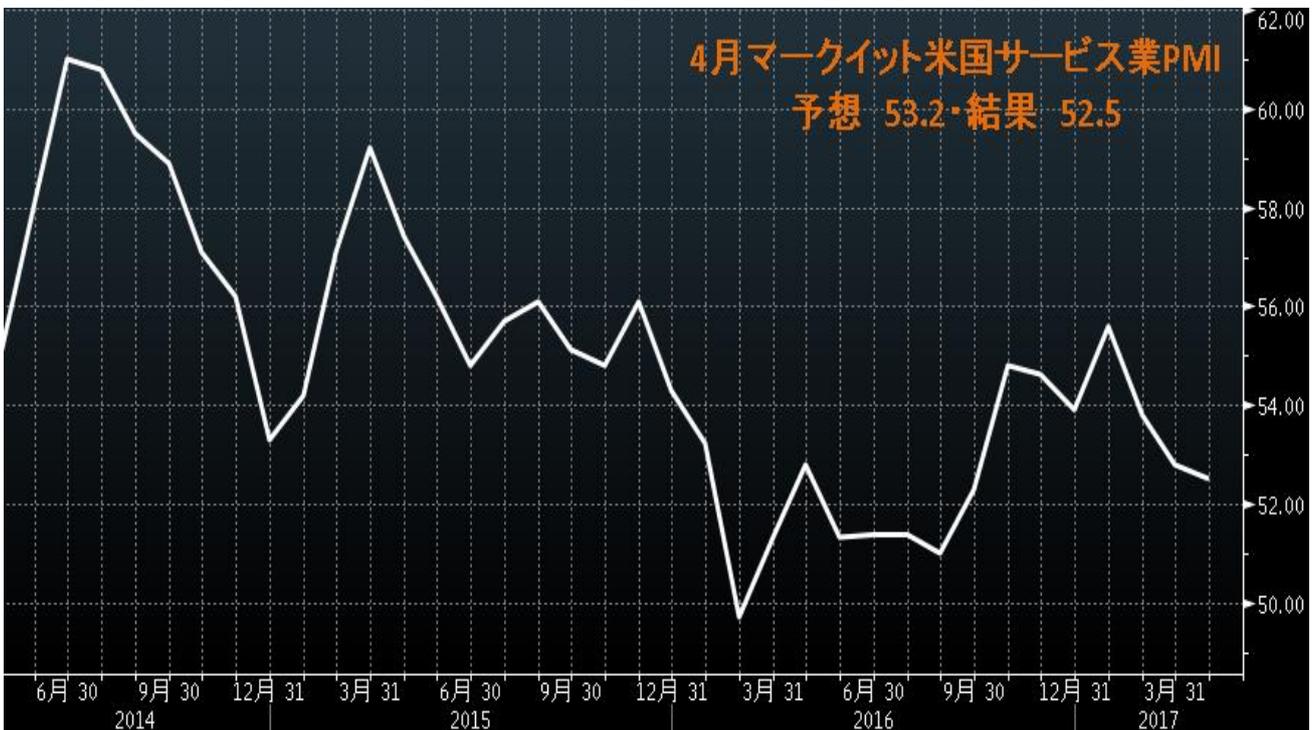
◀ 経済指標の結果 ▶

4月マーケット米国製造業 PMI 52.8 (予想 53.8・前回 53.3)

4月マーケット米国サービス業 PMI 52.5 (予想 53.2・前回 52.8)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米中古住宅販売件数 571万件（予想 560万件・前回 547万件）
 前回発表の548万件から547万件に修正

3月米中古住宅販売件数（前月比） 4.4%（予想 2.2%・前回 -3.9%）
 前回発表の-3.7%から-3.9%に修正



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ 中古住宅販売 ▶

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
販売戸数	571	547	569	551	560	553
北東部	76	69	80	76	80	74
中西部	131	120	129	131	133	133
南部	242	234	231	223	225	220
西部	122	124	129	121	122	126

(万件)

◀ 経済指標のポイント ▶

NAR（全米不動産業者協会）が発表した3月の中古住宅販売件数は、市場予想が560万件を上回り、年率換算で前月比+4.4%の571万件と、2ヵ月ぶりに増加し、2007年2月以来10年1ヵ月ぶりの高水準となった。前年同月比では+5.9%となった。

①一戸建て住宅は、前月比+4.3%の508万件、前年比では+6.1%。集合住宅は+5.0%の63万件、前年比では+5.0%。

②市場の住宅在庫は、3月末時点で前月比+5.8%の183万戸件、前年比では-6.6%と22ヵ月連続で前年水準を下回った。また、販売に対する在庫率は3.8ヵ月で前月と変わらずとなった。

③成約物件の中間販売価格は、前年同月比+6.8%の23万6400ドルと61ヵ月連続で前年同月を上回った。平均販売価格は+5.3%の27万8500ドルだった。

④地域別では、北東部が+10.1%、中西部が+9.2%、南部が+3.4%、西部は-1.6%だった。

23 : 10

◀ 要人発言 ▶

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「次回利上げは大局的には重要ではない」
- ・「長期的に大事なものは財政政策だ」

23 : 40

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁

- ・「インフレ加速が持続的かどうか十分確信できない」

0 : 20

◀ 要人発言 ▶

フィッシャーFRB 副議長

- ・「今年の利上げ回数への見方は変わらず」
- ・「向こう数回のFOMCでバランスシートについて決定する」

1 : 50

◀ 要人発言 ▶

シュイブレ独財務相 (G20 議長)

- ・「世界経済、なお下向きのリスクがある」
- ・「金融政策の正常化に備える必要がある」
- ・「米財務長官は貿易政策に関する決定はまだないと述べた」

2 : 58

◀ 要人発言 ▶

トランプ米大統領

- ・「税制プランを来週の水曜日に発表する」

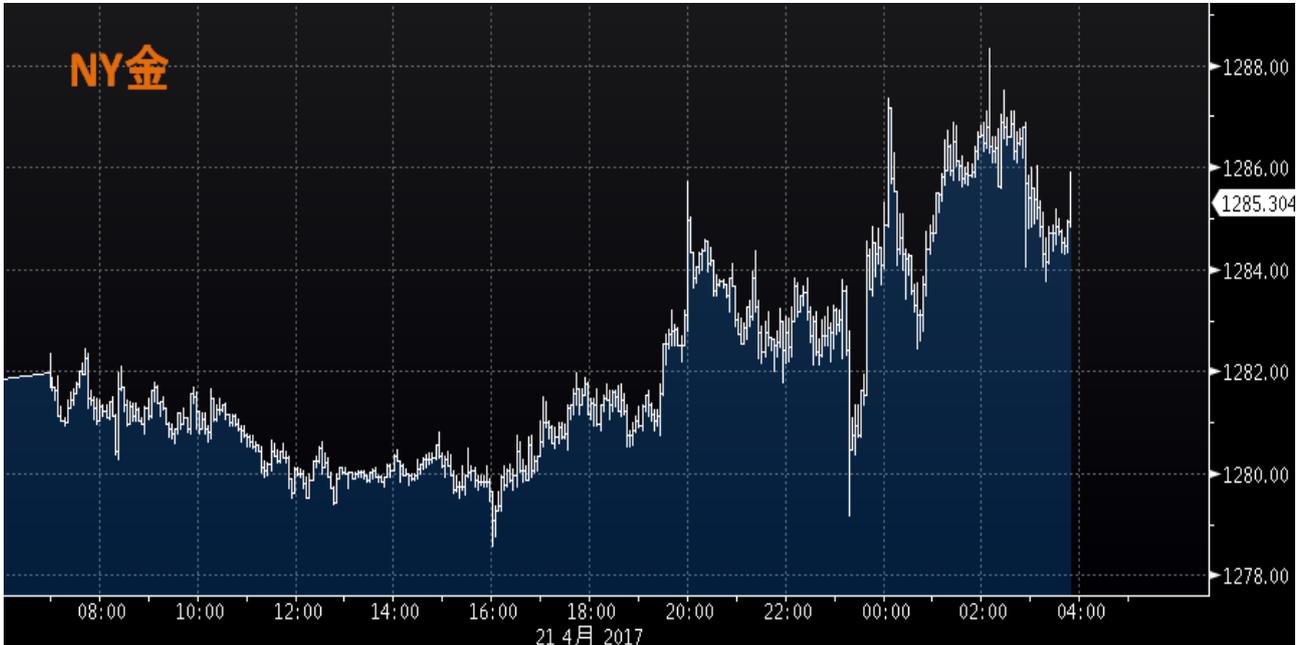


出所 : Net Dania

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 5.30 ドル高の 1 オンス=1289.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、フランス大統領選第 1 回投票の行方が不透明だとして投資家のリスク回避志向が強まり、比較的 안전한資産とされる金を買われた。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.09 ドル安の 1 バレル=49.62 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米原油の生産増加に対する懸念が根強いことに加え、OPEC とロシアなど非加盟国が協調減産の期限を延長することに懐疑的な見方が出たことも圧迫要因となった。終値ベースでは、3 月下旬以来約 3 週間ぶりに 50 ドルを割り込んで取引を終えた。



出所：Bloomberg

≪米株式市場≫

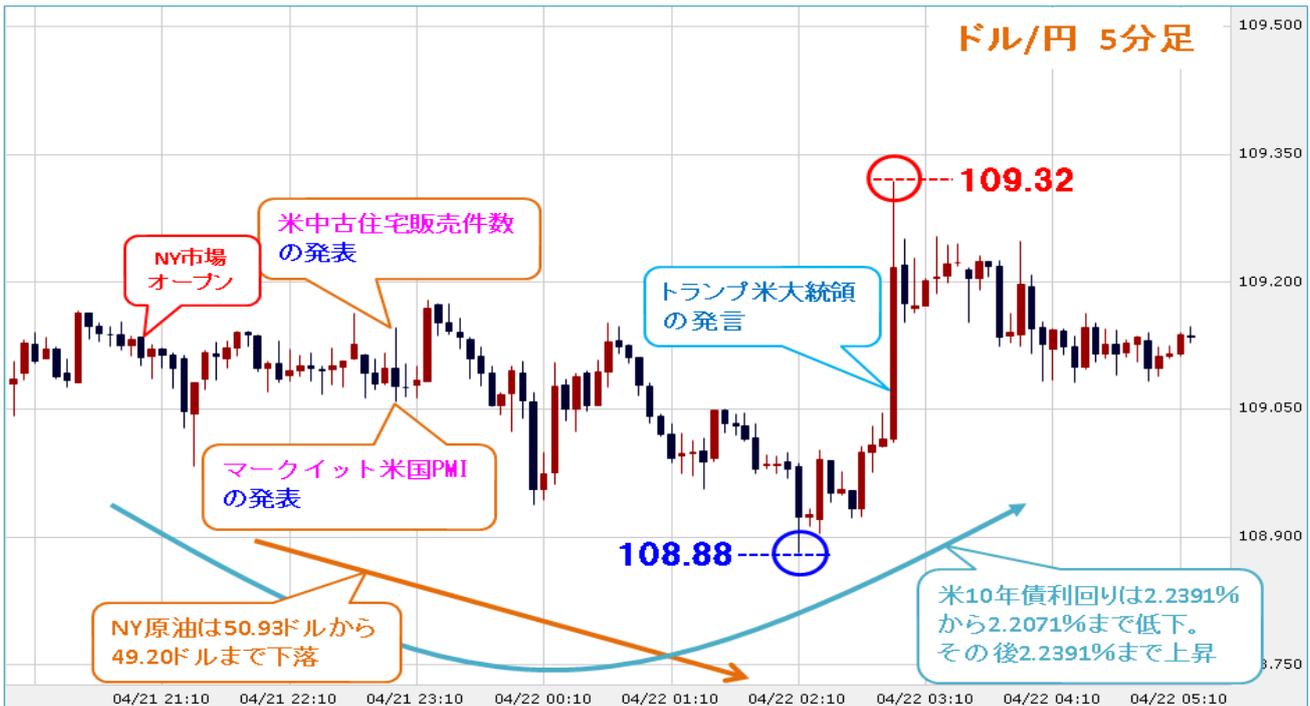
米株式市場は、フランス大統領選の第1回投票を控え、積極的な売買が手控えられ、主要株価は序盤から小動きの展開となった。ただ、極右と極左系の候補がそろって決選投票に進んだ場合、金融市場は混乱するとの警戒感も根強く、主要株価は終盤まで上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、フランス大統領選の第1回投票を控え、ドル円・クロス円は序盤から小動きの展開が続いた。その後、トランプ米大統領が、来週税制計画を公表すると発言したことを受けてドルが買われ、米株価もプラス圏まで上昇する動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、その後は再び上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。